

事前送付した答申案に対する委員意見とその対応一覧表

会長と事務局（市企画課）の協議による				
答申案該当箇所	委員名	意見内容	意見への対応	理 由
1 答申内容	安孫子委員	「同意すべき」の表現を「防衛省との協議に入ることに同意すべき」にした方が 良い。	少数意見とし て付記	防衛省との協議に入ることへの同意では、防衛省の申し入れに 同意すべきとする多数意見とは異なる見解であることから、答 申の文末に少数意見として付記すべきと判断しました。
2 答申に至った理由	高橋委員	諮問から答申までの経緯を付記するべきではないか。	答申前文に掲 載することで 反映する	入間市文書事務の手引きによると、答申に至る経過を記述する 事例が示されており、意見の趣旨を採用し、答申前文に追記す ることとします。
2 答申に至った理由	高橋委員	その理由に至った根拠を提示してはどうか（下記 ○印が該当）。		
（１）災害対処拠点について①	高橋委員	○ 今後、首都直下地震等発生確率が気象庁や統計学・専門家などから高いこ と。	反映しない	答申案では、理由について最も必要と思われる事項のみを箇条書き で表記することとしました。
	安孫子委員	「東日本大震災における自衛隊の災害派遣活動の実績を踏まえると」の記 述は、審議会において深くは議論されていないので、可能なら削除するべ き。	反映しない	平成27年度第3回審議会会議録P. 8に発言実績があるため、案文 のままとします。
（１）災害対処拠点について②	高橋委員	○ スポーツ・健康という観点から市民利用は評価できる。	反映しない	趣旨としてはこのような観点も推測されますが、委員の議論が はっきりとは確認できませんでした。
	岩崎委員	運動場については、入間市体育連盟他スポーツ団体や市民の声を十分に反 映し、これに沿った整備を行っていただくよう強く要望する。	反映しない	附帯意見(1)で趣旨は述べています。答申案に詳細は記述してい ませんが、今後防衛省とはご意見の内容を踏まえた調整を行っ てまいります。
（２）自衛隊病院について	高橋委員	○ 救急搬送病院の増加。	反映しない	同様の趣旨が答申案に記述されています。
	安孫子委員	「市外の病院への救急搬送が多い現状から、」の記述は、審議会において 深くは議論されていないので、可能なら削除するべき。	記述を削除	平成26年度第4回審議会で資料提供し、説明していますが、委員 の議論は確認できないため、該当箇所を削除とします。
	澤田委員	「市外への救急搬送が多い状況」の「多い」という表記では、その度合い が分かりにくいため、表現を再考すべき。		ただし、「市外への救急搬送が多い状況」の「多い」という表 記を変更して、記載を継続すべきかどうか、意向を確認しま す。
	岩崎委員	救急搬送の受け入れの約束事は文書にて取り交わすべき。	反映しない	答申書には詳細な内容を明記しませんが、防衛省への要望事項 については、文書で取り交わすことも含め、調整してまいりま す。
（３）平成20年6月の留保地利 用計画との整合性について	高橋委員	○ 平成26年9月18日付防衛事務次官の要請の内容・配慮事項と合致してい る。	反映しない	整合していないとする一部意見もあったことから、合致という 表現は用いず、一定の整合性としたところです。

※ 以下の意見は多数意見に基づいて構成される答申案への意見とは方向性が異なるため、これらの意見は、少数意見として答申案の文末に付記することとします。

答申案該当箇所	委員名	意見内容
2 答申に至った理由 （１）災害対処拠点について①	大賀志委員	災害対処拠点は、東町側留保地内ではなく、入間基地内に設置するべき。
（１）災害対処拠点について②		財政状況が厳しいのであれば民間資本の積極的な活用を進める方向を探るべき。
（３）平成20年6月の留保地利 用計画との整合性について		グラウンドの市民利用は非常に限定されたものと推測される。入間市が優先的に利用で きる当該留保地をすべて失うことは市と市民にとって大きな損失である。